

岸本聡子区長の就任にあたっての申し入れ

2022年7月26日
日本共産党杉並区議団

6月19日投票で行われた区長選挙で「みんなでつくる みんなのまち」を掲げた岸本聡子氏が新区長に選ばれたことは、前田中区政からの転換を求めてきた多くの区民の意思が示された結果です。

前田中区政では、児童館・ゆうゆう館の廃止や都市計画道路の推進など住民の生活に大きな影響を与える計画が住民の声を聴かずに進められ、区政の私物化についても大きな問題となりました。我が党区議団は前田中区政の問題点の是正を求めて論戦に挑んできた経緯があり、岸本新区長が掲げる「自治基本条例に則って行政を進める」との基本姿勢を高く評価するものです。今後、各施策のあらゆる段階において住民の声を反映させる努力を期待します。

区長就任にあたり、区政運営の基本姿勢及び喫緊の課題となっている新型コロナ対策、物価高騰、猛暑等の当面の課題への対応について、下記の通り要望いたします。

— 記 —

1. 区政運営の基本姿勢について

- ① これまで、杉並区のパブリックコメント等では、多くの住民の声が寄せられるにもかかわらず区の方針に異を唱える意見は事実上無視され続けてきた。こうした、住民無視の姿勢を転換し、区政のあらゆる場面で区民の声を大切にすること。
- ② 情報公開請求では期日延長の常態化と共に、公開した情報も黒塗りばかりで結果的に情報が開示されない状況である。情報公開の対応指針の策定などを行い、適切な情報公開を進めること。
- ③ 当初予算編成について、杉並区は予算案確定前の見積状況の公表が11月の1回のみとなっているが、段階的に複数回行うこと。区民意見も公募すること。
- ④ 「杉並区職員の倫理の保持及び公益通報に関する条例」では区職員の倫理の保持について規定されているが、抽象的な内容であることが問題となっている。国家公務員倫理規定を前提として、明確で具体的な倫理規定を制定すること。
- ⑤ 区職員が意欲的に職務に臨み、積極的に意見を表明できるよう、風通しの良い職場づくりを進めること。また足立区「労使一体のハラスメント防止共同宣言」のように、職場でのセクハラ、パワハラ、マタハラ等あらゆるハラスメントの防止に向け、取り組みの抜本的強化を進めること。

2. 当面の課題について

【新型コロナウイルス感染拡大第7波対策】

- ① 感染拡大第7波で杉並区受診・相談センターへの電話が繋がりにくくなっているため、センター体制の強化を行い改善すること。
- ② 4回目ワクチン接種について、「医療従事者等」「高齢者施設等の従事者」だけでなく、保育施設や教育施設等のエッセンシャルワーカーへの接種を進めるとともに、希望する人が摂取できるよう接種対象者を大幅に拡大するよう国に求めること。
- ③ 都が行っている「濃厚接触者への抗原定性検査キットの配布」事業の周知を区としても

行い、検査機関への負担を軽減すること。

- ④ 区内の新型コロナウイルス対応病床数について、本年5月時点より21床減少している。入院患者の増加に備え対応病床の確保を進めること。

【物価高騰及び猛暑対策】

- ⑤ 国に対し、消費税の5%への緊急減税及びインボイス制度導入中止を申し入れること。
- ⑥ 学校給食費の保護者負担について、今年4月からの値上げ分を元に戻すとともに、さらなる負担軽減を検討すること。
- ⑦ 区民、事業者への支援として、プレミアム付き商品券の発行を行うこと。その際は、紙での発行を基本とすること。
- ⑧ 杉並区として、東京都が行っている子育て世帯への時短家電購入支援制度を活用すること。その際、北区のように子育てサービスを受けていない世帯だけでなく、対象年齢の子どもがいる全ての世帯を対象とするよう区独自の検討を行うこと。
- ⑨ 生活困窮世帯やひとり親世帯への経済支援策として、家賃助成等を行うこと。
- ⑩ 廃止された中学校修学旅行費補助金を復活すること。
- ⑪ 就学援助の支給基準を見直し、対象を広げ保護者の負担軽減を図ること。
- ⑫ 生活保護世帯や低所得者世帯に対して、クーラーの設置補助を行うこと。
- ⑬ 区立施設等を活用した猛暑休憩所、一時休憩所の充実を図り、区民周知を進めること。

【区立施設について】

- ⑭ 区立施設再編整備計画については、今までの進め方も含め計画内容の検証を行い、児童館・ゆうゆう館の廃止方針を見直すこと。
- ⑮ 児童館、ゆうゆう館等については、専門家や利用者を含めた「あり方検討会」等を設置し、廃止や統合ありきではない本来の施設のあり方を検討すること。
- ⑯ 区立施設の使用料については、「未利用者との公平性」という言葉を用いて値上げが進められ、様々な区民活動が制限されている。公的施設として適切な使用料なのか、あらためて検証を行うこと。

【都市計画マスタープラン等について】

- ⑰ ゼロカーボンシティと防災を柱する方向性を示したことは我が党として歓迎する。都市計画審議会で党区議団の野垣審議会委員が提案した以下7項目を考慮し改定案を作成すること。
- ・骨子案作成段階からの区民意見を尊重し、対話型説明会を実施すること
 - ・ゼロカーボン推進の観点で都市計画も再検討すること
 - ・都市計画道路偏重の防災対策を見直すこと
 - ・都市計画道路については必要性の再検証を行うこと
 - ・多心型・駅勢圏中心のまちづくりを見直し、区内どこに住んでも行政サービスが受けられるまちづくりを進めること
 - ・公営住宅の充実と家賃補助の検討を進めること
 - ・ユニバーサルデザインのまちづくりは当事者ととも調査・検証を進めること

以上